

認知症作業療法 活動報告(概要)

京都府作業療法士会は、事業局公益部内に設置されている認知症支援委員会(平成30年10月現在14名の委員で構成)が、他部局や委員会をはじめ、認知症カフェ支援協力者との協働を含めて、認知症関連団体とも連携し、認知症に関する種々の公益活動に取り組んでいる。平成30年には京都府より『本人の活動を重視する認知症カフェ支援アドバイザー派遣事業』受託を経て、京都府にある認知症カフェへの支援を継続している。

平成29年度 日本作業療法士協会 作業療法推進モデル事業 「認知症初期集中支援チームにおける 作業療法士の地域支援の促進と地域間の連携の構築」

- ①京都府下3ブロックでの
認知症初期集中支援チームに関する研修会
 - ②認知症の地域支援に関する研修会
 - ③認知症カフェの運営支援
- ※詳細はモデル事業報告の際に説明



研修事業風景

認知症ケース検討会

京都市からの依頼を受け、助言者として委員を中心にOTを派遣している。検討会の目的は認知症の方や家族を支援する専門職が、支援に悩んでいるケースについて、支援の方向性の検討と事例提供者や他参加者の学びの機会になることである。

認知症カフェの運営協力

平成25年より、認知症カフェの運営に関与し、京都市・宇治市で計5か所のカフェへの定OTの派遣を継続している。また、府士会員に対しては受け入れ可能なカフェをマップ化してHPに掲載し、カフェと府士会員をつなぐことで普及・啓発も行っている。

北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会、西 京区認知症ケア協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されており、種々の取り組みへの協力と情報共有・発信を行っている。

認知症アップデート研修

平成29年は1回開催し、66名が修了した。
平成30年は2018年度版の資料を用いて、12月に1回の開催予定で準備を進めている。

本人の活動を重視する認知症カフェ支援アドバイザー派遣事業(京都府より受託)

支援依頼の内容に応じて、府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し、認知症カフェの運営に関わる助言を行う。アドバイザーは、認知症カフェへの支援経験を有し、アドバイザー養成研修を受講した府士会所属の作業療法士である。

前期(8月～12月)に3か所、後期(10月～平成31年2月)に5か所へ派遣予定である。

RUN伴への参加

京都府作業療法士会としてエントリーし、8名(大人7名、子供1名)が今まさに激走中。

今後の展開

- ・京都市外(主に北部・南部)の事業へのOT派遣および当該地域でのOTとの連携強化
- ・認知症の人と家族の会との連携の在り方の検討
- ・他士会との相互交流と情報交換をはじめとした連携の強化